

## (2) 文化施設

### ア これまでの取組み

市民の教養の向上、生涯学習活動及び芸術文化活動を推進するとともに、文化的意識の高揚及び情報発信機能を担うため「湯沢文化会館」及び「雄勝文化会館」を設置しています。

また、図書館機能と社会教育施設機能をあわせ持つ施設として「稲川カルチャーセンター」を設置するほか、秋田県指定文化財「旧雄勝郡会議事堂」を保護・保存するため、「雄勝郡会議事堂記念館」を設置しています。

このうち、湯沢文化会館について、施設老朽化対策や新たなニーズに応えられる建物・設備の改修、施設の有効活用を図るための「湯沢文化会館機能向上事業計画」（以下、「機能向上計画」という。）を令和4年6月に策定し、この計画に基づき大規模改修工事を行うとともに、機能向上に向け鑑賞事業などの取り組みの方向性を示し、あわせて、湯沢文化会館、雄勝文化会館、文化交流センターの3施設を一括して包括的に民間活力を活用した管理運営手法の導入を進めることにしています。

施設 No.	施設名	所在地	地区	所管課
文1	湯沢文化会館	字沖鶴103-1	湯沢	生涯学習課
文2	雄勝文化会館	横堀字白銀町49-1	横堀	
文3	稲川カルチャーセンター	川連町字大関下6	川連	
文4	雄勝郡会議事堂記念館	北荒町2-20	湯沢	

### イ 現状と課題

施設 No.	施設名称	建築年	法定耐用年数	経過年数	延床面積(m <sup>2</sup> )	運営形態	職員数	支出(千円)	収入(千円)	利用人数
文1	湯沢文化会館	S54	50	43	5,970	直営管理	正4,再1,会1	105,969	17,497	67,700
文2	雄勝文化会館	H8	50	26	5,760		正1,会1	54,415	825	19,600
文3	稲川カルチャーセンター	H14	47	20	714		会4	11,708	—	8,700
文4	雄勝郡会議事堂記念館	M25	22	131	550		—	4,009	13	2,100

#### 文1 湯沢文化会館

鉄骨鉄筋コンクリート造3階建て、延床面積5,970m<sup>2</sup>。昭和54年に旧耐震基準で建設しましたが、耐震基準は満たしています。建築から43年経過し建物や設備の老朽化が進み、平成30年度には大ホール吊り天井脱落防止工事を実施しています。

開館日・開館時間は、年末年始と月曜日、祝日の翌日を除く9時から22時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は105,969千円となっています。施設使用料5,465千円のほか入場料収入など合計17,497千円の収入があります。

施設は大ホール(1,200席)、中ホール(400席)、リハーサル室、第1～第4会議室、特別会議室、練習室、展示室等で構成し、各種コンサート、吹奏楽関係大会、太鼓、落語、演劇、オペラ、バレエ、ダンス教室などの自主事業5事業(参加者数約4,000人)、共催事業2事業(参加者数約900人)を行っています。このほか、民間や団体が貸館事業で使用し、自主事業、共催事業を含めた年間利用者数は約67,700人となっています。利用状況は次のとおりです。

## 【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
大ホール(1,200席)	20	第1会議室	22
中ホール(400席)	10	第2会議室	17
リハーサル室	13	第3会議室	14
練習室	10	第4会議室	11
展示室	16	特別会議室	10

## 文2 雄勝文化会館

雄勝生涯学習センターと雄勝図書館との複合施設で、鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階、地上4階建て、延床面積5,760㎡。平成8年に新耐震基準で建設し、建築から26年経過しています。平成30年度に外壁及び屋根防水工事、中央監視システム改修工事を行っています。

開館日・開館時間は、年末年始と月曜日を除く、毎日9時から22時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は54,415千円となっています。施設使用料781千円のほか入場料収入など合計1,032千円の収入があります。

施設は、メインホール(400席)、研修室、防音サークル室、視聴覚ホール、ふるさとホール、創作活動室、調理室、和室、図書館で構成し、各種コンサートや教室などの自主事業3事業(参加者数約500人)を行っています。このほか、民間や団体が貸館事業で使用し、年間利用者数は約19,600人となっています。利用状況は次のとおりです。

## 【利用状況】

部屋名	稼働率(%)	部屋名	稼働率(%)
メインホール(400席)	8	調理室	2
防音サークル室	27	ふるさとホール	3
視聴覚ホール	11	研修室	12
創作活動室	6	和室	2

## 文3 稲川カルチャーセンター

鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建て、延床面積714㎡。平成14年に新耐震基準で建設し、建築から20年が経過しています。

開館日・開館時間は、年末年始を除く毎日、平日は10時から19時まで、土・日曜日、祝日は9時から19時までで、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は11,708千円となっています。施設使用料は条例上規定がないため収入はありません。

施設は、ホール(168席)、図書閲覧室(80席、蔵書可能冊数2,300冊＝辞典類換算)とステージ、リハーサル室、ギャラリーで構成し、図書の貸出を主として行い、年間4,400冊の資料、図書が利用されているほか、ピアノ、コーラスの発表会、毎月1回の読み聞かせ事業、作品展示会などに使用され、年間利用者数は約8,700人となっています。

## 文4 雄勝郡会議事堂記念館

木造2階建て、付属施設を含む延床面積550㎡。明治25年に建設し、建築から131年経過し、秋田県指定文化財に指定されています。

開館日・開館時間は、年末年始(1月4日まで)を除く毎日、8時30分から17時までで、管理

運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は4,009千円となっています。施設利用料として13千円の収入があります。

施設は、展示室や事務室等で構成し、1階の部屋は常設展示、2階の展示場は絵どうろうを展示しているほか、市主催の企画展、貸館などで使用され、年間利用者数は約2,100人となっています。

### 【現状と課題のまとめ】

公立文化施設は、市民の文化芸術活動や生涯学習活動の場・機会を提供することに加え、市民の文化ニーズに応じて質の高い芸術・文化に触れる機会を提供すること、市民の創造的な芸術・文化活動を支援する役割が求められています。

市民に文化芸術活動等の場を提供する役割は機能していますが、市民の文化ニーズに応え、質の高い芸術・文化に触れる機会の提供については今後の課題となっています。

湯沢文化会館、雄勝文化会館の立地特性を生かすとともに、広域的な観点から、市民主体の芸術・文化活動の場の提供に加え、市民ニーズを捉えた質の高い鑑賞事業などを定期的で開催するなど、効果的かつ効率的な管理運営のあり方について検討が必要です。

### ウ 今後の方針とスケジュール

総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。

#### 【基本的な考え方】

- 市民の自主的な文化芸術活動の拠点として、また、文化情報の発信拠点として継続します。市民のニーズを捉えた、質の高い芸術鑑賞の機会を提供するとともに、市内の文化団体等の育成及び発表・交流の場を提供するため、予防保全を含め計画的に改修し、長寿命化を図ります。
- 施設の稼働状況や市主催の自主事業などの状況を踏まえ、施設の効果的かつ効率的な運営を図るため、民間活力を活用した管理運営方法について導入を進めるとともに、周辺自治体との広域化についても検討します。  
また、受益者負担の適正化について、減額・免除規定の見直しを含め検討します。
- 歴史的建造物は、文化財保護法等の規定に基づき必要な補修を行い保存・活用します。

#### 【個別施設ごとの対応方針】

##### 文1 湯沢文化会館

- 昭和54年の建設で、耐震基準を満たしているものの、建物・設備の老朽化が進んでいることから、機能向上計画に基づき、大規模改修工事を行います。改修後は、保全計画に基づき改修を行い継続使用します。
- また、機能向上計画に基づき、市民のニーズに応じて「鑑賞事業」「創造支援事業」「交流促進事業」などに取り組むとともに、施設利用情報の提供を含め、多様な世代への情報発信を図っていきます。
- 管理運営については、隣接する文化交流センター及び雄勝文化会館と一括して包括的に行うため指定管理者制度への移行を進めます。

## 文2 雄勝文化会館

- 平成8年に新耐震基準で建設した建物であることから、保全計画に基づいた計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。
- 湯沢文化会館及び文化交流センターと一括して包括的に行うため指定管理者制度への移行を進めます。

## 文3 稲川カルチャーセンター

- 生涯学習活動及び芸術文化活動のための機能から、稲川地域における図書館機能を持つ施設として機能向上を図ることとし、あわせて、民間活力を活用した管理運営のあり方を検討します。
- 平成14年に新耐震基準で建設した建物であることから、保全計画に基づき計画的な改修を行い、長寿命化を図ります。

## 文4 雄勝郡会議事堂記念館

- 湯沢市における歴史資料の展示や市民の文化活動の場として継続します。  
本施設は、湯沢駅周辺複合施設に整備する歴史展示室のサテライト拠点と位置付けており、歴史的建造物の趣を生かした事業展開を図ります。
- 明治25年に建設した歴史的建造物として、文化財保護法等の規定に基づき、必要な補修を行い保存・活用を図ります。

### 【年度別スケジュール】

項目	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 ~ 2030年度 (R10) (R12)
湯沢文化会館	大規模改修		保全計画に基づく改修を行い継続使用		
	● 指定管理導入		機能向上計画に基づく事業展開		
雄勝文化会館			保全計画に基づく改修を行い継続使用		
	● 指定管理導入		機能向上計画に基づく事業展開		
稲川カルチャーセンター	図書館機能を中心とした 管理運営手法の検討			検討結果に基づく対応	
	生涯学習等機能の廃止・条例改正		保全計画に基づく改修を行い継続使用		
雄勝郡会議事堂記念館		法令等に基づく必要な補修を行い継続使用			
	サテライト施設としての事業展開の検討			検討結果に基づく対応	

エ 概算事業費と効果額

単位：千円

施設 No.	施設名称	今後の 方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）						維持管理費	
				現状維持した場合			本計画を実施した場合			単年度の比較	
		建物	長寿 命化	大規模改修	建替	合計	長寿命化等 大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
文1	湯沢文化会館	継続	●	4,035,835	3,229,862	7,265,697	3,109,718	3,229,862	6,339,580	63,494	63,494
文2	雄勝文化会館	継続	●	0	3,376,381	3,376,381	3,164,187	0	3,164,187	45,117	45,117
文3	稲川カルチャーセンター	継続	●	241,163	386,004	627,167	361,745	0	361,745	3,817	3,817
文4	雄勝郡会議事堂記念館	継続		0	0	0	0	0	0	4,009	4,009
概算事業費（合計）				4,276,998	6,992,246	① 11,269,244	6,635,650	3,229,862	② 9,865,512	③ 116,437	④ 116,437

更新費用の試算比較 ②－①	単年度の維持管理費の比較 ④－③
△ 1,403,733 千円	0 千円

※ 歴史的建造物は法令に基づき補修するため更新費用の比較は行わず、維持管理費のみとします。

※ 雄勝文化会館の更新費用と維持管理費には、雄勝図書館（図2）の費用を含みます。